

ホットな消費者 News

消費者問題の事例対処法を解説します。

インターネット検索の上位に出てくる格安広告を簡単に信じないように！

庭木の伐採をする業者をインターネットで検索して、トップに「庭木の伐採 980 円～」の格安価格を表示する広告を見つけたので、ホームページから申し込んだ。後日、見積もりに来た業者に 30 万円と言われ予想より高かったが「そういうものか」と思い、契約書面にサインした。

1 週間後に伐採してもらったが、知人に話をしたら高いと言われ不安になった。返金などの対応はできるのでしょうか。

対処法・アドバイス

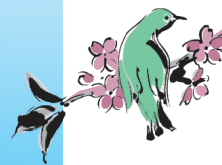
- 極端に安い価格を表示するホームページや広告には注意しましょう。
- 不安をあおったり、契約を急がす業者とは契約しないようにしましょう。
- インターネットの格安価格だけにとらわれず、同様のサービスを提供する複数の会社から見積もりを取りましょう。
- 表示とかけ離れた価格を請求されたときは、クーリング・オフによる解約ができる場合があります。

お問い合わせ

消費者ホットライン ☎ 188 久留米市消費生活センター ☎ 0942-30-7700 福岡県警察 ☎ 110 または # 9110

広川文芸

ひろかわ俳句会



母の息ふつと通へり盆の花
西瓜割り種とぼしする孫五人
大空を掃くごとゆるる合歓の花
夏空にごみ拾う朝澄み切りて
向日葵や畑一枚の光吸う
夏休みひっそりとした通学路
露地の宵ひそと咲くなり夕化粧
梅雨明けや子等かしましくボール蹴る
山小屋の窓に広がる夏の雲
梅雨明けや一塵もなき今日の空
夏の夜亡き人偲ぶ螢かな
清らかに一日かぎりの蓮の花
友情の証に届く初すいか

櫻の会

久しぶり知人の家を訪へば近所の二軒空地となれり
目に良いとブルーベリーを植ゑし母ひと粒一粒夫収穫す
若者よ恋はどうなのあたたかき家庭を作り未来につなごう
りゅうちゃんの口にあはぬと老うさぎのえさを買ひ換ふ夫の献身
朝日さす青き空へと伸ぶみどり空に溶け合ひやがて消えゆく
久しぶり逢ふにこやかな友の顔ピンクのベスト良く似合ってる
成らぬ歌口ずさみつつペランダに腰をおろせば蝶のすり寄る
あの蟬はみんなお空に帰ったと小さき嘘を幼に言へり
お慕いは彼を信じて信じられ共に進んだあなただからよ

野中 勝美
濱武美智子
一瀬砂智子
中倉 明美
細川 徳子
小西 俊郁
山崎美代子
青木佳代子
丸山 雪乃

青木佳代子
一瀬砂智子
渡辺 弘子
溝田 幸
水本 艶子
酒井 司
柴田 眞理
結束 節子
原口 正信
原口あつ美
西村智佳子
福田美知子
野中 勝美

「ひろかわ俳句会」会員募集しています。◆日時 毎月第1(木) 9:30～11:30 ◆場所 町民交流センター「いこっと」

ふるさと 再発見

広川町郷土史研究会

広川町にある巨樹・珍樹 その1

内田天満神社の境内には、カゴノキというクスノキ科の珍しい樹木が聳（も）えています。

樹高 約10・0メートル
幹周 1・5メートル
を測ります。

樹木名の由来はというと、樹皮が円形薄片となつてはく離（は）れて、鹿子模様（かこもよう）に見えることから、そう呼ばれます。通りに面した場所にあるため、人の眼を引きます。

福岡県では、糟屋郡新宮町の六所神社境内に所在するカゴノキが有名で

樹高 10・5メートル
幹周 5・05メートル

を測る樹木が最大で、唯一の県指定天然記念物となっています。

それに比して内田天満神社の木は、幹周こそ及びませんが、樹高はほぼ肩を並べます。

樹勢はすこぶる旺盛で樹形も見事です。



▲内田天満神社境内にあるカゴノキ



▲樹幹の模様。子鹿の体の模様になていることからその名がある。

これまでの調査の限りでは、いま一つ石人山古墳の、重要文化財の武装石人を御神体として祭る石人社の背後に自生木がありますが、巨木という程ではありません。

旧八女郡内でも、それなりに奥まった林中に数株は確認していますが、誰でもが簡単に近づける場所ではなく、そのような意味からも内田天満神社に聳える当該木は、いかなれば内田区のシンボル樹的な存在といつてよいのではなかろうか。

ちなみにカゴノキの特徴はというと、第一に樹皮が円形薄片となつてはく離することです。これは蔓性植物の絡み付きから身を守ろうとする自衛・防御策であると指摘する説もあります。そうであるとするならば、自然のなせる人知を超越した智慧に感嘆するばかりではあります。

これからしばらくは、広川町内に所在するこのような巨樹や珍樹について、それに付会する伝承など一緒に、ご紹介してみたいと考えています。

広川町古墳資料館だより

広川町では、古墳時代住居跡から当時使用されていた土器が出土しており、特に丹塗り（赤）と漆塗り（黒）の土師器（素焼きの土器）が多く出土しています。

また、窯で焼かれた須恵器に似せた土師器も出土しています。

いずれも、通常の生活具とは違う使い方をしていた可能性があります。



▲丹塗りと漆塗りの土師器